

福岡県認知症介護実践リーダー研修 平成29年度実施状況

(認知症福岡県社会福祉協議会委託事業)

認知症介護実践リーダー研修の目的は、実践研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成することを目的として実施された。研修日程は、講義・演習 10 日間、施設実習 3 日間、自施設実習 18 日間である。

この研修のねらいは、①研修の目的と目標を確認し自分自身の目標を見つけ、意味付けを考える。②カリキュラムがどのように立てられているかを理解し、研修の方向性を明確にする。③研修を通して、良い情報交換の場、ネットワークづくりの場に活用できる。④研修の機会を、主体的、積極的に自分の学習の場として活用できるよう取り組むことが出来るようになる。

研修企画運営は、県社協研修課担当者と実習受け入れ施設の5施設の認知症介護指導者で講師の手配、講義・演習の準備を行った。今年度は、認知症介護リーダー研修新カリキュラムへの移行。福岡県認知症介護指導者全員で、各単元を受け持ち全研修を行った。

10 日間の講義・演習では、認知症介護の理念・生活支援のための認知症介護の在り方・人材育成のための技法・権利擁護などの講義を行った。理念の構築の研修では、研修生の仲間づくりの演習としてゲームを取り入れた。実施していく中でチームワーク・リーダーシップなどが生まれ、多くの受講生が積極性や責任感を持てる場面が見られた。また、介護現場の介護理念の必要性、大切さを理解したと思われる。

他施設実習3日間・自職場実習 18 日間と、どの受講生も研修での講義・演習で学んで得た知識を活かし、現状の認知症介護の課題を見出し、目標を持って実習に臨んでいた。実習受入施設である富の里では、20 名の研修生を受け入れた。

3 日間の実習期間では、実習施設の職場環境や認知症介護の場面を観察することが出来たと思われる。現場職員は、短期間ではあるが実習生の認知症高齢者に対する関わり方や、思いを知ることで、現状の認知症介護の振り返りや、在り方を見直す良い機会となった。

リーダー研修の講義・演習で学んだ認知症介護の知識・技術、他施設実習での学びや気づきが、自施設で認知症介護の指導的役割を担い、発揮される事と思う。

また、他施設職員と多くの講義の中で意見を出し合い、それぞれの考え方や知識を得た事は、今後の認知症介護に活かして行けることと思われる。

① 所属施設種別人数（富の里施設実習者）

所属施設	人数
特別養護老人ホーム	6名
老人保健施設	2名
小規模多機能	1名
グループホーム	7名
通所介護	3名
介護療養施設	1名

② 講義・実習

講義・実習 （種別）	期間 （日数）	会場	住所
講義・実習	10日間	グローバープラザ	福岡県春日市原町3-1-7
実習	3日間	富の里	福岡県糸島市富508-4
自職場実習	18日間	各所属施設	

③ 実習

実施回数	受講者数	実習期間
1回目	4名	平成29年10月26日～10月28日
2回目	4名	平成29年11月2日～11月4日
3回目	4名	平成29年11月9日～11月11日
4回目	4名	平成29年11月13日～11月15日
5回目	4名	平成29年11月27日～11月29日